

海外普及の
ニュースも続々



IPGA NEWS



22

INTER NATIONAL PARK GOLF ASSOCIATION

国際パークゴルフ協会

北海道中川郡幕別町錦町66番地2
☎(0155)54-2260・☎54-2204

1999. 8. 1 発行



今年も変わらぬ笑顔があった
第13回国際P G大会

全国紙で紹介 各地から問い合わせ多数

ニュースポーツとしてパークゴルフが、初めて新聞の全国版に掲載された。これまで地方版に載ることはあったが、日本全国への発信に反響も大きく協会本部にはパークゴルフについての問い合わせが多く寄せられている。

掲載したのはサラリーマンに人気の高い専門紙「日本経済新聞」。6月13日の紙面で大きく幕別町で生まれたニュースポーツ・パークゴルフが本州、九州まで専用コースが広がり、普及していることを伝えている。幕別町はもとより、富山県小杉町や宮城県田尻町、神奈川県開成町といったPG先進地での人気の様子も紹介している。

協会本部にはこの記事によって、パークゴルフを知った自治体やゼネコンなどから「町づくりに、人々のレクリエーションとしてどう生かすか」「リゾート施設など遊休地に取り入れてみたい」という問い合わせなどが



1999.6.13 日本経済新聞より



数十件ののぼった。道内版での登場で北海道各地に広く普及したときのように日本全国への普及が加速されそうだ。

月刊誌でPG談義

発祥の地ゆかりの5人がPGの誕生からこれからの語る

北海道の雑誌「月刊イズム」7月号は「スポーツとしてレジャーとして人気のパークゴルフは幕別町が発祥」と題した座談会を掲載した。出席者は前原懿会長をはじめ、岡田和夫幕別町長、馬淵輝昭幕別町観光協会会長、大川和久十勝幕別温泉ホテル緑館総支配人、上野瑛二郎(株)ニッタクス十勝工場代表取締役専務工場長の5人。発行は(株)情報企画(札幌市)。

NPO法人化への取り組みを特集

国際パークゴルフ協会の今年度の事業計画の一つ、特定非営利活動促進法(NPO法)による法人格の取得に向けての活動が十勝毎日新聞の企画記事「NPO・十勝での息吹」の中に登場した。この企画は十勝管内のNPO法人格を取得した団体やしようとしている団体を連載。協会の取り組みについて、これまでのいきさつや法人化の必要性などを前原懿会長のインタビューを交え、紹介している。

NPOの息吹

発祥の地の財産 法的に守る
公益性追求できる競技に

国際パークゴルフ協会

「PGネットワーク会議」開成町で開催

第4回を迎えた「パークゴルフネットワーク会議」が6月11日から13日まで開催された。参加は幕別町をはじめ、宮城県田尻町、富山県小杉町、石川県根上町と開成町の神奈川県開成町の5町。各町から町長らが出席し、「住民交流」などをテーマに意見交換を行った。

同会議は、パークゴルフによって知り合えた町同士で親ほくを図り、町づくりに知恵を出し合っ

ていこうを目的に平成8年に各町の町長、町議会議長、助役、教育長が初会合し、順次会議を持ち回りで開催してきた。今年11日に交流会、次の日には「開成あじさい祭り」の開園式に出席。その後の会議では初年度からテーマの柱になってきた「住民交流」と各地の課題である「介護保険」についてそれぞれに報告、活発に意見交換しこれからの交流の深まりを確認した。



パラグアイでPG人気



トロフィーを用意し、交流大会を開催。日本と同じような光景がここパラグアイでも見られる。

1本のクラブがきつかけに

南米パラグアイに住む日系一世の井沢繁男さん（北海道南幌町出身）から協会へおたよりが届きました。個人的に持ち帰った1本のクラブから、愛好者が増え楽しまれ始めているようです。

井沢さんは平成8年に41年ぶりに北海道へ帰郷、そのとき初めて姉妹夫婦たちが楽しむPGを知った。自分も長沼町のPG場で初体験、緑一面のコースのすばらしさと楽しさに魅せられたという。パラグアイへ1本のクラブと数個のボールを持ち帰ったことがきっかけで現地では楽しむ人が増えていったが、PG用具やコースの不足が普及の足かせに。木工所に頼みクラブを試作してもらって用具の現地調達を試み、プレーする場所もサツ

カー場を借りるなど奔走した。今では愛好者も増え、日系人たちが読む広報紙にパークゴルフについてのエッセイがでるほどの人気、手作りコースも4カ所に増えた。課題はやはり、用具の確保やルールに沿ったコースづくりで現状では難しいという。これを受けて協会でも前向きに準備を進めている。

ボリビアでPG普及に貢献



ハルミさん

一月井さん夫妻に聞く
奮闘の一年を振り返って



武さん

「日系人の気持ちに答えたい」がきっかけ。普及の下地を築く

「ボリビアにどうか用具を寄付して」と協会に昨年連絡をくれた月井ハルミさん、武さん夫妻。（第20号で紹介）協会から送ったクラブやボールも今年1月にボリビアに届き、雨期の終わった3月から日系人たちへの普及に力を注ぎました。その努力でPGが娯楽の一つになり地域の交流にも役立ち始めているそう。協会本部ではさらに5月にも中古用具20セットを送りました。帰国したご夫妻にそのいきさつや取り組みの様子などお話をうかがいました。

▼サンタクルス県・サンファン村でPGを始めたきっかけは、ハルミさん 国際協力事業団（JICA）のシニアボランティアとして赴任して間もない頃、ボリビアでも「パークゴルフ」という言葉を知っている人がいて、やってみたいという声があったんです。発祥の地幕別町は、私達の住んでいた音更町のすぐ近く。現地のみなさんの気持ちに何とか答えたいと思い、思いつく日本の関係機関へFAQを出しました。クラブなどが日本から届いたときは本当にうれしかったです。

手作り練習場

▼ハルミさん、武さんと二人三脚で普及・指導したとのことですが、ハルミさん、私は保健婦として仕事する中で、訪問した場所でパークゴルフの話をしたり、

日系人たちへ配布する広報紙のなかで紹介しました。健康維持にも役立ちそうです。

武さん 私は自由になる時間が多かったので、直接パークゴルフのルールや楽しみ方を教えました。資料を読むことから始め、文化会館前に練習場、ティグラウンドも手作り。いろいろな工夫して練習用には竹でボールを作ったり。日系人たちも楽しみ方を理解して、楽しんでいきます。

▼4月に開催された交流大会も好評だったようですね。武さん まず第1回大会は開催のお知らせを全戸に回覧板を回し、第2回目はポスターを貼って参加者を募りました。村長さんがお孫さんを連れて朝から張り切つて準備してく



語一ペインターとポストカードを準備して、日本語で朝から張り切つて準備してく

れたり、汗ばむ暑さの中多くの参加者が集まりました。

夢は南米大会

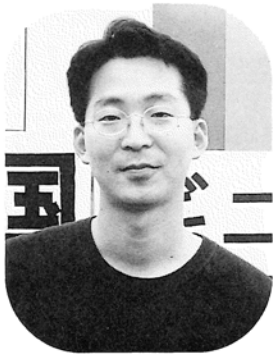
これからも日ボの交流を

▼これから、ボリビアのパークゴルフは、ハルミさん ますます広がってゆくでしょう。これからはサンファン村だけでなく、同じく日系人たちが楽しんでいるオキナワ村（第21号で紹介）との交流もできるように。すでに普及しているゲートボールは南米大会もあります。PGも近い将来そんな大会が開催されるようになれば。

武さん 中古用具の寄付をいただいて始まったつながり、これを機に国際パークゴルフ協会とサンファン村の役場が交流を続けてほしいです。私達も日本とボリビアの橋渡しをこれからもしていけたらと思っています。



集まればPGを楽しむ日系人たち。後ろは、移民資料館(手前)、文化交流会館

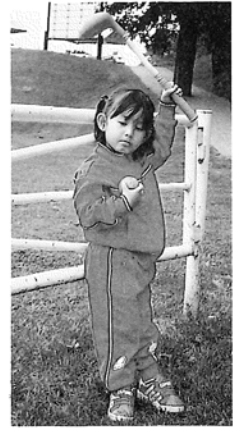


外国人男子優勝
シン・ヨン・クアンさん

ふだんは寮生や家族と楽しむという帯広畜産大学留学生。「一緒に回った方も入賞。アドバイスを受けたり、とても刺激されました。」ちなみに、同じグループの関井明さん(清水町)は男子の部4位、船戸義弘さん(帯広市)は同7位とそうそうたるメンバーでした。



「さあこうやって打つよ」と構えを教える松谷さん。ベテランの人が初心者の人へアドバイス、手ほどきする姿も多くありました。

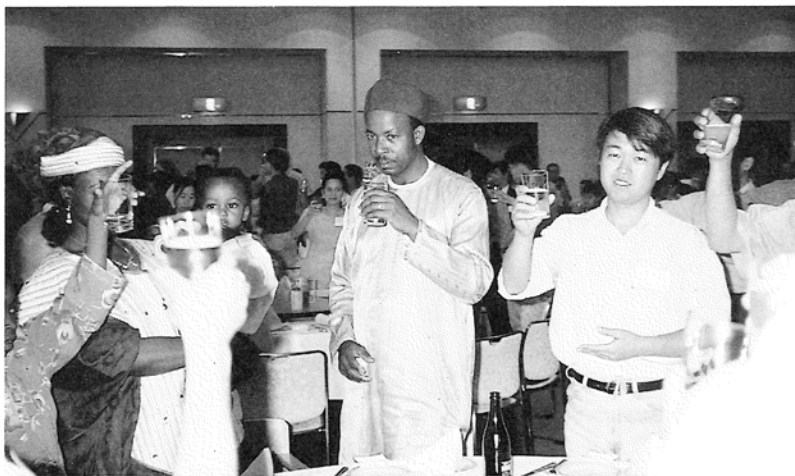


私もやりたいな……
グレイザーウエイちゃん(2才)

◀ 国際色豊かに 30カ国 247人が出場 第13回国際PG大会 開かれる



他の人のスコアも気になります。
さあ、横に並ぶトロフィーは誰の手に!?



▲ 大会成功を願い にぎやかに前夜祭

連覇は むずかしい??

国際大会ではより多くの参加者に優勝の喜びを味わってもらうため特別な決まりがあります。全体の部優勝者にはプラス5を、準優勝者にはプラス4のハンディがスコアに。今年も連覇者はませんでした。

大会前夜、26日には前夜祭
服装にもお国柄が……



外国人女子優勝
ラン・ティ・ビィチ・ディンさん



コースの中でも和やか。カメラを向けるとそろって記念撮影。

国際大会ならではの、2カ国語(日本語と英語)でも司会進行。英語担当のダニエル・トムソンさん(スコットランド)は実は日本語も上手。「打ち合わせがスムーズになった。」と、パートナーの安田百合子さんからもほめられた。ダニエルさんは大会にも出場し、つつじコース・B-9でホールインワン。



司会を務めたダニエルさんと安田さん



「さあ これから」クラブを持ち順番を待つ出場者たち

別海町から今年で3回目の参戦。上位4人のプレーオフではホールインワンで優勝を決めるという快挙を成し遂げた。「最後までがんばりました。優勝できずごくうれしい。夢を見ているみたい」と昨年6位からの躍進にうれしさいっぱいの表情でした。



女子の部優勝
清尾ミナ子さん

「O.K.(オーケー)」「Good(グッド)」「Nice(ナイス)」が共通語??

外国人2人と日本人2人のグループでコースを回る国際大会。初対面の人同士でも、「O.K.」「Good」と声が飛ぶティグランド。英語が共通語のようですが……。いえいえ、英語が分からなくても大丈夫。「クラブを持てば通じ合える」が実感できた大会だったのでは。



“大会新記録あり”
“ホールインワンあり”

「北海道知事杯・ブリジストンスポーツ杯・第13回パークゴルフ国際大会」が27日、北海道幕別町のサーモン・つつじ両コースで開催された。29カ国から外国人選手107人、日本人選手も合わせて247人が出場。団体の部では大会記録が塗り変えられるハイスコア87を出し、若手の萩史之さんが、女子はプレーオフの末、清尾ミナ子さんがともに初優勝した。また、外国人の部では男子がシン・ヨン・クアンさん(韓国)が優勝、女子はラン・ティ・ビッチ・ディンさん(ベトナム)が連覇した。

PGを通して幅広い世代、そして世界の人々と交流してゆくことを目的とした同大会。コースは日本人2人外国人2人の4人でまわる。初顔合わせの4人だが、ベテランから打ち方やコースのねらい方をアドバイスをもらい打ちとけ和気あいあい。一打一打に歓声があがるにぎやかな雰囲気なのか、パークゴルフを楽しんだ。

昼過ぎにすべての出場者がまわり終わると、お互いのスコアも気になるところ。表彰式では入賞者たちは喜びの表情で表彰台に、外国人選手からはブービー賞と猛打賞もあり、名前が呼ばれると喝采とともに笑いがおこった。初めての人もそうでない人もPGを満喫できた一日となった。

※大会結果は、6ページに掲載しています。



男子の部優勝
萩史之さん(左)と祖父の茂さん

朝からのくもり空に「こんな天気はPGをやるのに最高だね」とコースを回る祖父の萩茂さんの言葉通り、ご自慢のお孫さんが87という大会記録。当の史之さんは「こんなスコアができるなんて信じられない」と、周囲の祝福を受けながらも実感がわかないよう。



フォンくん

昨年のスコアを8つも縮めての連続優勝にも、昨年アベック優勝した主人のことが気になるよう。「優勝はすごくうれしい。でも主人が入賞できなかった残念。」と感想。しかし、初参加した息子フォンくんが、最年少出場者にして、外国人男子の部で3位に。フォンくんもコースを回った砂原重夫さん(帯広市)や三和隆さん(中川町)も「打ち方が本当にいいよ」と関心することしきり。

各地の 大会結果

第2回知事杯

全道パークゴルフ大会

・主管：札幌支部
・月日：6月6日
・場所：北海道千歳市コトロパークPG場・36ホール
・人数：291人

●：5月に行われた予選会（札幌市在住者対象）には、1234人の参加者があり、上位者と抽選で150人に。当日はその精鋭達を含め291人が競い合った。天候に恵まれ出場者には笑顔が多く見られた大会は、横道と夫さんと松村千枝子さんが初優勝した。



試合開始を待ちわびる多くの出場者たちに見守られ始球式

【男子の部】

- ①横道 和夫（帯広市） 101
- ②泉 隆（札幌市） 101
- ③内海 治郎（千歳市） 103

- ④丸山 忠一（松前町） 103
- ⑤桃井 俊尋（札幌市） 104

別川河川敷フラワーPG場・36ホール
・人数 152人

【女子の部】

- ①松村千枝子（札幌市） 110
- ②内海 栄子（千歳市） 110
- ③尾崎いく子（札幌市） 113
- ④新谷 昭子（札幌市） 113
- ⑤土木 嬌子（幕別町） 113
- ⑥岩井 祐子（幕別町） 113
- ⑦山田のり子（札幌市） 113

【男子の部】

- ①寺尾 英行（当別町） 108
- ②高橋志次雄（当別町） 109
- ③高原 信夫（石狩市） 112

日高支部第2回大会

・日時：6月20日
・場所：北海道静内町静内川右岸PG場・36ホール
・人数：125人

●：この日は薄曇りでさわやかな風が吹く絶好のコンディション。30代から70代の参加者は足取りも軽くコースを回った。ふだん会えない仲間も一堂に集まる大会に、和やかに交流を深めていた。

【男子の部】

- ①内山 久男（三石町） 111
- ②岡本 光次（静内町） 111
- ③谷村 幸治（静内町） 114

【女子の部】

- ①青塚 スエ（静内町） 122
- ②稲辺 孝恵（静内町） 124
- ③小林美和子（静内町） 127

第2回石狩支部春季支部長杯パークゴルフ大会

・月日：5月22日
・場所：北海道石狩郡当別町当

「北海道オープン」 出場者決まる

7月19日に厳正なる抽選

今年8日に開催が迫った「北海道オープン」に全国から324人の出場希望者がありました。応募多数のため、今年初めて抽選にて選手選出することが決まり、7月19日に前原懿会長立ち会いのもと、協会本部で行いました。厳正なる抽選の結果、全応募者の中から、270人が出場権を得ました。

なお、すでに結果についての返信を全応募者に出しています。

国際大会の結果

—男子の部—

- 優勝 萩 史之（帯広市） 87
- 準優勝 下川原健一（幕別町） 89
- 3位 石田幸男（幕別町） 91
- 4位 関井 明（清水町） 93
- 5位 清水 要一（帯広市） 94
- 6位 田中良雄（札幌市） 94
- 7位 船戸義弘（帯広市） 95
- 8位 前多 寿（幕別町） 97
- 9位 佐藤義晴（札幌市） 97
- 10位 横道和史（帯広市） 98

- ニカラグア
- ネパール
- バキスタン
- パプアニューギニア
- パラグアイ
- フィリピン
- ブラジル
- ペルー
- ボリビア
- メキシコ
- モンゴル
- 日本

国際大会の結果

—女子の部—

- 優勝 清尾ミナ子（別海町） 102
- 準優勝 増谷 玲子（幕別町） 102
- 3位 広沢良子（帯広市） 102
- 4位 佐々木美江子（幕別町） 102
- 5位 石田とし子（足寄町） 103

—参・加・国—

- アメリカ
- アルゼンチン
- インドネシア
- ヴェトナム
- カナダ
- カンボジア
- 韓国
- ギニア
- ケニア
- コスタリカ
- コロンビア
- ザンビア
- スコットランド
- スリランカ
- セネガル
- タイ
- タンザニア
- 台湾
- 中国
- ナイジェリア

国際大会の結果

—外国人選手の部—

<男子の部>

- 優勝 シン・ヨン・クアン（韓国） 113
- 準優勝 ゲーリー・マーコム（カナダ） 114
- 3位 フォン・テ・グエン（ヴェトナム） 116
- 4位 李 仁 炯（韓国） 117
- 5位 グエン・ヴァン・フー（ヴェトナム） 117

<女子の部>

- 優勝 ラン・ティ・ピイチ・ディン（ヴェトナム） 112
- 準優勝 趙 淑 杰（中国） 131
- 3位 小島ラン由美子（ブラジル） 137
- 4位 レナグリ・ムサ（中国） 138
- 5位 ラハミニワティ・ミン（インドネシア） 141

「転入者のための とかち学」

“パークゴルフは十勝を代表するスポーツです。”

引越してきた人たちにこれから住む町を紹介している「転入者のためのとかち学」。その中で、パークゴルフ体験が取り入れられている。7月6日には帯広市八千代にあるポロシリ高原パークゴルフ場で、道内を始め遠くは香川や東京からの転入者である主婦ら18人がPGを初体験した。



みつけた！

『パークゴルフ場に
こんなかわいい白鳥たちが…』

北海道音更町にあるその名も「白鳥コース」、白鳥が越冬のため飛来することで有名な観光スポットの十勝川河川敷にあり十勝川温泉近く。ポールや案内板に白鳥をデザインし、プレイヤーたちの目を楽しませている。



トイレにも…

探して下さい。
あなたの町で

PG場やその周辺にあるユニークなものを紹介します。あなたの町で見つけたら、本部までお知らせください。



PGでわがまちを知る

この「転入者のためのとかち学」は帯広市内を中心に十勝管内へ2年以内に転入してきた人を対象に4日間のプログラムを組んでいる。今年度も第1日目（7月1日実施）は、室内で帯広・十勝の観光案内、3日目は市内の施設、学校給食共同調理場などを見物し、4日目は「十勝の食材を味わう」をテーマにした会食が行われた。



広々としたコースに感激。おもしろさを実感した参加者たち

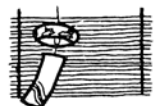
しそうな表情。札幌市から引越してきた不破静香さんは「パークゴルフは知っていたのですが、札幌では手軽に出来なかつた。とても楽しみにしていました」といい、初体験の杉村宏子さんも「本当に楽しいです」と笑顔で話していた。

公認指導員が活躍中

「転入者のためのとかち学」でのPG指導をはじめ、帯広市でのさまざまなパークゴルフ講座には帯広PG協会から公認指導員が派遣されています。

ありがとうございました クラブ47本など寄付届く

音更中央パークゴルフ愛好会（北海道音更町・高野久次会長）は、このほど中古用具を協会へ寄付、高野会長らが持参した。会員から集まった用具はクラブ47本、ティ47個、ボール120個。海外から「中古用具を送ってほしい」と要望がきており、協会本部ではこの寄付された多くの用具を海外に向けて送る準備を進めている。



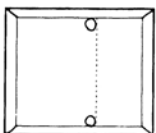
ルール教えて!!

Q&Aコーナー

質問 パークゴルフを見よう見まねで覚え、楽しんでいきます。ティグラウンド内でティアップする（第一打）場所はルールで決まっているのでしょうか。

答え ボール全体がティラインより前方に出るといけません。ボールの一部でもティラインに触れていればティアップ区域内のボールとみなされます。ちなみにスタンス（足の位置）はティグラウンド内であれば、ティラインを越えてもかまいません。

※このコーナーでは、本部に問い合わせのあったパークゴルフに関する質問に答えてゆきます。今後さまざまな質問をお寄せ下さい。



各地の大会日程 (9月～11月開催予定)

| 開催予定日 | 開催支部 | 大会名 | 開催地 |
|----------------|--------|------------------------|-----|
| 9月19日 | 十勝支部 | 全道シニア大会 | 帯広市 |
| | 宗谷支部 | 第5回支部長杯争奪 | |
| | 岩手県支部 | 第2回 東北団体PG選手権大会 | 大野村 |
| 9月25日 ～26日 | 本部 | 第5回JALカップ 全日本選手権大会 | 幕別町 |
| 10月3日 | 胆振支部 | 第6回 「元気まち白老」大会 | 白老町 |
| 10月24日 | 胆振支部 | 第3回オール日本 男女ペアマッチ選手権 | 白老町 |
| 11月12日 ～13日 | 神奈川県支部 | 第5回 パークゴルフ全国大会 | 開成町 |

最寄りの大会に足を運んでみては!!
お問い合わせは開催支部または本部まで

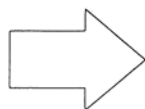
お願い

海外での愛好者の増加のニュースと一緒に、現地でのクラブ・ボールなど用具不足の声が聞かれます。「日本で古くなって使われていない用具があれば寄贈してほしい」との要望に答えるべく、協会本部ではみなさんからの中古用具の寄付を募っています。各協会などを通じて「着払い(送料は本部負担)・できれば10～15本程度ひとまとめにして」協会本部に送ってください。協力をお願いします。



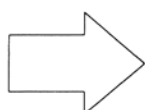
この「PGA NEWS」が あなたの元へ届きます

◎まずは一冊
見たい人へ



個人購読のすすめ
1冊 300円(送料含む)

◎毎号(隔月)きちんと
読みたい人へ



定期購読のすすめ (6冊ごと更新)
1,500円(送料含む)

申し込み方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢を明記し、購読料(送料)分の切手を同封の上、協会本部へ郵送で申し込んで下さい。

編・集・後・記

海外からのニュースも届くほどのPGの広がり、きっと国内ではもっとすそ野が広がっていることでしょう。子供たちの声が響く夏本番へ突入、パークゴルフを楽しむときも暑さ対策は万全に。

募集や問い合わせのあて先は

〒089-0604
北海道中川郡幕別町錦町66-2
TEL 0155-54-2260
FAX 0155-54-2204
国際パークゴルフ協会まで